

チャンゼリゼ通りを超える“**大手前通り**”へ

～公民連携による魅力向上プロジェクトへ



大手前通りの目指す将来像

来街者の視点

⇒ **歩くのが楽しくなる**

大手前通りとなること

沿道建物オーナーの視点

⇒ **自己資産&エリアの**

価値を向上させること

公民連携による持続可能な仕組みへ

地元を含めた民間事業者の動機及び得意分野と、行政の動機及び得意分野を踏まえた、適切な公民連携を行うことで事業を推進していきます。

民間が担うべき役割

1. 民間の事業ノウハウと投資的な財源の投入
2. インフラ施設・設備の効果的な活用案の検討
3. 地先空間を活用した魅力向上事業の実施
4. 事業を通じた不動産、エリア価値の向上

×

行政が担うべき役割

1. 民間の事業意欲や活用アイデアの有無の把握
2. 受益者負担の原則に基づく空間への公共投資
3. 適切な役割分担に基づく **運用権限の委譲**
4. 適切な選択と集中に基づく **規制緩和措置**

将来ビジョンを実現するための長期プロセス

ゴールに向かってアイデアと覚悟を持った地元の事業者や団体の方と直接検討を進め、小さな単位から試行的取り組みを実施し、その成果を持って全体のプランやビジョン実現への道筋をデザインしていきます。

■ 5年の長期プロセス

2019年

- 大手前みらい会議(OMK)の立上げ
- 将来ビジョン・実現プロセスの検討
- 協議会&沿道オーナーの合意形成
- 活用チャレンジによる効果検証

2020年

- 公共空間利活用マニュアル作成
- 道路協力団体指定・地元管理運営

2021年

- 沿道の用途やデザインルール検討

2022年

- 沿道ルール合意形成・運用開始

2023年

- 沿道用途誘導・活用の定着化

2019年6月

大手前みらい会議 (OMK)の設置

- ・大手前みらい会議の設立決議(総会)

将来ビジョン素案の 共有

- ・将来ビジョンの素案作成

7月~8月

沿道関係者の合意形成

- ・沿道ビルオーナー
1Fテナントへのヒアリング

9~11月

社会実験による検証

- ・社会実験の検討
- ・社会実験の実施と効果測定

12~3月

将来ビジョンの策定

- ・将来ビジョンのとりまとめ

2019年度大手前通り活用チャレンジ



- 時 期 : 2019年11月2日(土)~30日(土)
- 場 所 : 大手前通り(十二所前線~国道2号のウッドデッキ・滞留空間)
- 主 催 : 大手前みらい会議 (OMK)

サポート: 有限会社ハートビートプラン

※「大手前みらい会議 (OMK)」

大手前通り沿道に店舗や建物を保有する、事業者有志によるグループ。

小さな組織ならではの機動力で、よいアイデアはスピーディーにブラッシュアップし、活用チャレンジとして実践。トライアンドエラーを重ねながら「いつ歩いても、いつも楽しい大手前通り」の実現を模索していきます。

- 内 容 : 大手前みらい会議 (OMK) が、大手前通りを訪れる方、観光客の方を姫路の魅力的な「食」や「クラフト」でおもてなし。期間中は週末を中心に、くつろぎ空間と飲食の出店や物販マーケットが大手前通りを彩りました。

ミチミチ実施前の大手前通り



ミチミチ実施風景 (昼)



ミチミチ実施風景 (夜)



公民連携で可能になった大手前通りの活用方法 その1. パーティーバイクの走行

8

道路空間での走行は初
交通管理者の協力により実現



公民連携で可能になった大手前通りの活用方法 その2. 茶室の設置

9

庁内関係部局の連携により実現



公民連携で可能になった大手前通りの活用方法 その3. ヤグラの設置

10

庁内関係部局の連携により実現



大平前通り活用チャレンジ 2019

三子三子

家とラフトに出会う秋の散歩道



To Be Continued !!